

2024.5.23

田村まみ組織内参議院議員、厚生労働委員会で質疑！

## 休日・夜間保育について、質疑を行いました！



田村まみ議員、子ども家庭庁 審議官（右）

<https://youtu.be/46uWkVKykMY>

田村まみ組織内参議院議員、発言抜粋

### 「休日・夜間保育について」



#### まみに聴かせてキャンペーンに寄せられた声

「育休中ですが、仕事復帰に当たり保育園を探しています。私は土日や年末年始、早朝から深夜にも仕事があるので預けられる保育園が見つかりません。保育園で働く方も大変ですが、仕事と子育てが両立できる世の中にしてほしい。」

「育児休暇や子育ての環境ばかりがクローズアップされるが、他の従業員がカバーしているだけで根本的な改善になっていない。保育所や放課後児童クラブなどを土日祝、時間帯を延長するなど対策して欲しい。」

「まだまだ子育ての女性が働く環境ではない。サービス業だから土日働け、無理なら営業から離れる。それでは誰が土日子供見るのですか。」

- 休日・夜間に働く必要があるエッセンシャルワーカーの仕事と育児の両立を支える休日・夜間保育について、子ども家庭庁としての取組みを確認しました。
- 子ども家庭庁からは、休日保育については、単一施設・事業所でのみならず、複数の保育所等での共同保育により休日保育を実施している施設・事業所を公定価格の加算対象としており、また夜間保育については、公定価格の夜間保育加算に加え、22時を超えた延長保育実施時には通常より高い補助単価を適用しており、こうした支援により休日・夜間に働く労働者の両立支援を進めているとの説明がありました。
- 自治体経由で行われる休日保育等のニーズ調査においてエッセンシャルワーカーが調査対象者から漏れていないか質しました。
- 子ども家庭庁からは、大規模自治体においては抽出調査になっているところもあるものの、保育所の利用世帯に限らず保護者への全般的な調査によりニーズ把握に努め、調査に基づいた必要な体制の確保を進めているとの答弁がありました。
- 子ども家庭庁として休日保育の拡充に向けて取組みを進めてはいますが、現在、休日保育は地域子ども子育て支援事業の項目として取り上げられていません。まだあまり意識されていないが潜在的ニーズのある地域の自治体においても休日保育の取組みが進みやすくなるよう、今後、地域子ども子育て支援事業の項目として大きく取り上げ、さらなる対策強化を進めることを求めました。